

公共交通

活躍できる主な試験区分

土木

建築

機械

電気

○市バス・地下鉄の一体的なネットワークにより、市内全域で、安全・安心で快適な交通サービスを提供し、市民・利用者の日常生活を支える重要な役割を果たしています。

○市バスは、その機動性を活かして、きめ細かなサービスを提供しており、市内におけるバス路線の約9割を担っています。

○地下鉄は、高速で定時性を有し、大量輸送が可能な公共交通機関として、1957年11月に東山線名古屋・栄町間で営業を開始し、現在は6路線93.3kmの路線網により、市内交通の基幹的な役割を果たしています。



車体を検査する名港工場



ホームの安全性を高める可動式ホーム柵

交通局技術本部車両電気部電車車両課計画係 技師

甲良 祐也

地下鉄の車両に自動運転装置を導入
安全で快適な名古屋の地下鉄をつくる

●現在の仕事について教えてください。

私の所属する電車車両課計画係では、地下鉄車両の新車の購入や老朽化した車両の装置の更新業務などを行っています。最近では平成28年度～令和2年度の5年間で、名城・名港線を走る車両全36編成の機器更新およびホーム柵対応のための改造を行いました。この事業では車両に自動列車運転装置であるATO運転機能(Automatic Train Operation)を追加しており、最新の車両は、運転士がボタンを押すと自動で発車し、次の駅で停車するようになっています。

私は、このATOの導入のために約1年間、ほぼ毎日車両の試運転を実施し、線路条件に合わせた車両の運行速度の調整や、イレギュラーな走行時のためのシステム調整などを行ってきました。2020年5月にATO運転が名城・名港線で無事にスタートしたときは、とても感慨深いものがありました。

●職場の雰囲気について教えてください。

車両に関する事業は規模が大きく、ひとりで全てを行うことはできません。職員一人ひとりが自分の仕事に責任を持ちつつ、チームワークを大切にして働いている職場だと感じます。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

公務員の技術職は、市民の方々の生活インフラを支える縁の下の力持ちのような仕事です。目に触れる機会が少ない職種ではありますが、全員がより良いまちづくりを目指して努力しています。一緒に名古屋という素晴らしいまちをつくっていきましょう。



電
氣

経歴
2013年4月～ 交通局 技術本部 車両電気部 名港工場 管理係
2013年5月～ 交通局 技術本部 車両電気部 名港工場 修車係
2017年4月～ 交通局 技術本部 車両電気部 名港工場 管理係
2019年4月～ 交通局 技術本部 車両電気部 電車車両課 計画係



機 械



交通局技術本部施設部施設事務所設備第一係 係長

野呂 重理

施設保守の最前線として
地下鉄やバスの安全運行を支える

●現在の仕事について教えてください。

交通局は、約100の地下鉄の駅や約1,500のバス停など様々な施設を管理しており、これらの施設の付帯設備の保守・更新を行うのが施設事務所の役割です。

第一係は、主に給水・排水関係の設備を担当しており、私は、係員21名を束ねる係長として、予算管理や安全管理、作業工程の確認、係員の指導などを行っています。公共交通機関は、多くの方が利用するため、緊急時でも運行に影響が出ないよう、安全性や迅速性を重視した対応が求められます。施設保守の最前線として「自分たちが交通局を支えている」という誇りを持って業務に取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

業務中に疑問や不明点があればお互いに教え合ったり、相談したりするなど、とても良い雰囲気です。また、緊急障害の連絡があれば部署全体で一枚岩となり、係の枠を超えて対応することもあります。安全かつ迅速な対応が求められる仕事なので、日頃からチームワークを大切にしています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

公営交通で地下鉄とバスを運営している自治体は全国でも限られており、人生の中で自分の足跡を残すうえでも、名古屋市ほど良い存在はないと思います。リニア中央新幹線の開業を控えて、名古屋市は大きな転換期を迎えています。我々と一緒に、このまちを新たなステージに導いていきましょう。



経歴
2007年4月～ 交通局 技術本部 施設車両部 施設事務所 設備第二係
2009年4月～ 交通局 技術本部 建設部 建築課 設備係
2010年1月～ 交通局 技術本部 建設部 工事事務所 建築係
2011年4月～ 交通局 技術本部 施設部 施設事務所 設備第一係
2013年4月～ 交通局 技術本部 施設部 営繕課 設備係
2017年4月～ 交通局 営業統括部 自動車部 緑営業所 整備係長
2020年4月～ 交通局 技術本部 施設部 施設事務所 設備第一係長



交通局技術本部施設部軌道事務所技術係 技師

佐々木 彩乃

検測車に乗ってレールを検査
みんなの『当たり前』を支える

●現在の仕事について教えてください。

軌道事務所技術係は、トンネルなどのコンクリート構造物や車両が走るレールなどの保守業務が主な仕事です。

私は、軌道の検査を中心に担当しており、検測車で地下鉄の路線を走り、レールに歪みなどがないか年2回検査を行っています。その他、列車の揺れの検査が年2回、レール内部の検査が年1回あり、検査したデータを保線区に送り、レールを補修してもらいます。日々、地下鉄は時刻どおりに駅に到着し、安全な走行を続けています。このような「当たり前」を支える現場があることを市役所に入って初めて知り、驚きました。今では私も縁の下の力持ちとして寄与できることに喜びを感じています。

●職場の雰囲気について教えてください。

個々ではなく、部署全体で協力して業務に取り組んでいるため、チームワークは抜群です。軌道の職務は専門的な知識が必要になりますが、職場の風通しは良く、わからないことがあっても先輩や上司が丁寧に教えてくれるので助かっています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

名古屋市の技術職の面白さは、数年ごとに異動があり、幅広い仕事に関われることです。広い視野を持って物事に取り組み、様々な経験を積むことで、充実した豊かな人生につながると思います。



土
木

経歴
2015年4月～ 交通局 技術本部 施設部 工務課 維持係
2018年4月～ 交通局 技術本部 施設部 軌道事務所 技術係

